

特集 いじめゼロスクール 目指して

子どもの人権における重大で深刻な問題となる「いじめ」――。一昨年の大津市をはじめ、近年、特にいじめの問題が全国的にクローズアップされています。大垣市では、子どもたち自身が主体となって、いじめのない学校「いじめゼロスクール」を目指しています。今回の特集では、市内小・中学校におけるいじめ根絶に向けた取り組みや、子どもや保護者の思いを紹介します。



「大垣市中学校人権宣言」の草案を練る生徒

子どもたちの取り組み

市内中学校の生徒は、「KIZUNA」を合言葉に、他者を思いやる心を学び、いじめのない学校づくりに取り組んでいます。きっかけは、昨年8月に行われた「KIZUNAミーティング」での東日本大震災の被災地・岩沼市の子どもたちとの交流です。あいさつ運動やボランティア活動などについて発表し合い、意見交換する中で、相手を思いやり、ともに力いっぱい活動しようとする「人と人の心の絆」の大切さを改めて実感しました。これを機に、中学校の代表者が一堂に会して話し合い、自分たちの手でいじめのない「いじめゼロスクール」をつくり出そうと「大垣市中学校人権宣言」が生まれました。

また、小学校の児童は、「ふやそうポカポカことば」なくそうチクチクことば」を合言葉に、仲間と交わす言葉を見つめ直しています。言われてうれしかった言葉、つらかった言葉などを仲間と出し合うことで、思いやりやつらいことに立ち向かえる心を高めています。

このほか、学年を越えた仲間との交流を進め、年少者へのサポートや助け合いの重要性も学んでいます。12月には、全小・中学校が集まり「いじめゼロスクール」への各校の取り組みを報告し合いました。



全校集会で「ポカポカことば」を集める児童

学校・行政の取り組み

大垣市では、各小・中学校と一体となり、すべての教育活動を通して他人の痛みが分かる児童生徒を育てながら、いじめの未然防止や早期発見・対応に取り組んでいます。教職員研修はもちろん、これまでのアンケートや面談に加え、子どもの心の状態や変化をより丁寧に見つめることのできるチェックシートを作成し、活用しています。さらに、あたたかな人間関係づくりを把握するための調査を、全小・中学校で行い、よりよい人間関係づくりの指導に生かしています。

また、学校だけでなく家庭においても、いじめのサインを見逃さないよう「子どもの悩みサイン発見シート」を作成・配付し、早期発見に努めています。このほか、子どもや保護者が学校生活のさまざまな悩みについて、いつでも気軽に相談できるよう、電話やメールによる相談窓口を開設。これを紹介するクリアフォルダを、児童生徒の家庭に配付しています。いじめが生じた際には、主幹教諭やスクールカウンセラー、ほほえみ相談員や教育総合研究所の相談員と連携してケース会議を出発点と、一致協力して問題の解決に向かう体制を整えています。

子どもたちの悩みに 気付いてあげてください!!

表情や言動、態度のちょっとした変化に、悩みのサインとなるものがあります。

Table with 2 columns: 家庭での代表的な悩みのサイン, 具体的な悩み内容. Rows include: ぼんやりしたり、心ざきこんでいたりする; 学校や友だちの話をしなくなる; 学校へ行くのを渋ったり、身体の不調を訴えたりする; 道具や持ち物に落書きがある; 一人だけ離れて登校するようになる; 家族と会話を避けたり、視線を合わせなかったりする; 友だちの荷物を無理やり持たされている; お金の使い方が荒くなり、家のお金を無断で持ち出す; 服が汚れていたり、破れていたりする; 異いえた覚えのない物を持っている; あざやすり傷があるが、わけを言いたがらない; 友だちからの電話に出たがらない; 持ち物や自転車などが壊れている; 教科書やノート、プリントなどを見せたがらない; すぐに自分の部屋に行き、なかなか出てこない; 成績が下がり、書く文字の筆圧が弱くなる

【悩みのサインに気付いたら...】

何でも話せる環境をつくり、じっくりと話を聞いてあげてください。最後に「絶対にあなたを救う」という気持ちを伝えてください。そして、学校に相談してください。担任や学年主任はもちろん、校長、教頭、養護教諭などが、内容に応じて対応します。学校に相談しにくい、他の意見も聞いてみたいという場合には、右の相談機関にご相談ください。



相談窓口

いじめ・不登校・友人関係 など ~子どもや学校の悩み ご相談ください~

- ◇いじめ相談 (市教育総合研究所) ☎0584-74-6666 月~土 9:00~16:00
◇市教育委員会学校教育課 ☎0584-81-4111 内線773・774 月~金(祝日除く) 8:30~17:15
◇メール相談窓口「ともだち」も開設 電話で伝えられない悩みは、パソコンや携帯電話のメールを使って、ご相談ください。 tomodachi@city.ogaki.lg.jp
◇いじめ相談24 (県総合教育センター) ☎0120-740-070 ※24時間対応
◇県青少年SOSセンター ☎0120-247-505 ※24時間対応
◇ヤングテレホンコーナー (県警) ☎0120-783-800 ※24時間対応
◇西濃地区少年サポートセンター (県警) ☎0120-783-802 ※24時間対応
◇子どもの人権110番 (法務局) ☎0120-007-110 月~金(祝日除く) 8:30~17:15

問合せ 学校教育課 内線 773・774

~Voice・ボイス~

ここでは、いじめのない学校づくりを目指す中学生の思いと保護者の願いを紹介します。

誰もが笑顔で いられますように

大垣市立興文中学校 前期生徒会長 渡部晃大 後期生徒会長 加藤健人

今、大垣市内の中学校の全教室には、1枚のポスターが貼られています。そのポスターにはこう書かれています。

「仲間の絆で 誰もが笑顔で生活できる 学校をつくります」

これは、昨年8月に、市内全中学校の生徒会代表者が会した「KIZUNAサミット」において議論を尽くし、熱い願いを込めて策定した「大垣市中学校人権宣言」です。この頃は、いじめのニュースが日本中を震撼させていました。サミット会場の仲間は「いじめはどの学校にもどの生徒にも起こり得る。今こそ、大垣市では『いじめゼロスクール』を自分たちの手でつくっていきましょう! そのためには、一人ひとりが仲間と心の絆を深めることが一番大切だ!」との思いで一つになりました。

各学校では、これまでも定期的に人権集会を開いたり、人権週間を設けたりして、仲間の大切さや素晴らしさを認め合う意識を高めました。全中学校統一の人権宣言をつくったことで、一人ひとりの人権に対する思いは一層重みを増しました。12月には、「KIZUNAミーティング」を開き、心の絆を深める活動を前期から後期へと確実につなげ



ました。中学3年生のぼくたちは、間もなく卒業を迎えます。だけど、この思いや活動は、決してぼくたちの代だけで終わらせてはなりません。今後もずっとずっと人権尊重についての取り組みを続け、より深い、より強い絆を築き上げてもらいたいと思っています。人と人の絆は、いじめのない誰もが笑顔で生活できる学校をつくり出すだけでなく、一人ひとりの学校生活を向上させ、未来を切り開き、夢や希望へと進んでいくための大きな原動力になると確信しています。

いろいろな場面...

大垣市PTA連合会 母親代表 小島裕季子

私が母から学び、今まさに子育てをする上で実践していることが、2つあります。

1つは、どんな話でもまず聞いてあげること。私は高校2年生の息子と中学3年生の娘がいます。男女の違いもあり、たとえ兄妹でも聞かれたくない話題もあるでしょうから、それぞれに合った時間を見つけ、「今日はどうだった?」「何か楽しいことあった?」と聞いています。ある時は買い物に付き添ってくれた車の中だったり、夜寝る前のちょっとした時間だったり...。もちろん私も聞くばかりではなく、今日の出来事などを話して話題を共有し、親子の「ふれあい」を大切にしています。もう1つは、身内や町内などにご不幸があった時には必ず同席させるようにしています。亡くなった方に対して、お世話になったという「思いやり」の気持ちで送り出すことを経験することで、人の生と死を意識させるようにしています。

いじめは、自分の子どもにも、もちろん他の子どもにも、するものされるもの、人として許されることではありませんし、親としても本当に許せないことです。新聞やニュースでこのような記事を見たり聞いたりすると悲しい気持ちになります。子どもたちもそんなニュースを聞いてどう思うか、話し合っています。

いじめをしない、されないように、私も私の母親がしてくれたように、「ふれあい」と「思いやり」を大切にして、子育てをするようにしています。



親子の会話が弾むひととき (写真はイメージです)



小・中学校の就学援助 申し込みは各学校へ

市教育委員会は、経済的な理由で子どもを小・中学校へ就学させることが困難な人に、学校給食費や学用品費などの一部を援助しています。

- \*対象/前年度または今年度において、次のいずれかに該当し、教育委員会が総合的に判断し認定した人
①市民税が非課税または減免となった世帯 ②児童扶養手当の支給を受けた世帯 ③保護者の職業が不安定であるなど生活状態が極めて悪いと認められる世帯
\*援助の内容/学用品・通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費、医療費(学校保

かくれんぼ絵本を作ろう 墨俣図書館

- \*とき/2月9日(土) 午前10時~11時30分
\*ところ/墨俣さくら会館2階研修室
\*内容/折り紙などで作った目隠しをめぐって楽しむオリジナル絵本を親子で作る
\*定員/親子15組
\*申込/2月2日から、墨俣図書館 ☎62-3900 へ

音楽リズムあそび 墨俣児童館

- \*対象/0~3歳児とその保護者
\*とき/2月14日
\*内容/リズムあそびを通して親子の絆を深めよう
\*申込/2月1日~28日に、大垣市社会福祉協議会 ☎78-8181 へ

同時開催 2月9日(土)・10日(日) 9:00~17:00 スイピアセンター文化会館4階展示室

- ◆子どもの造形展/市内の小中学生が図工・美術の授業で制作した彫塑・工芸などの立体作品や版画など約1,200点を展示
◆ふれあい教育展/大垣特別支援学校や市内小中学校の特別支援学級などの児童生徒、障がい者授産施設の皆さんが制作した絵画や工作など約300点を展示

健法による疾病)など \*申込/子どもの通う小・中学校へ 詳しくは、庶務課(内線764)へ。

交通遺児・犯罪被害遺児に 激励金を支給します

- 県は、交通遺児・犯罪被害遺児を対象に、5月5日の「こどもの日」に激励金を贈ります。 \*対象/県内在住で、次の要件を満たす子(詳細な要件については、県ホームページをご覧ください)
①交通事故・犯罪被害で父母などの保護者を亡くされた子
②中学生以下の子および高校在学中の子
\*激励金額/乳幼児・小学生:1万5,000円、中学生:2万円、高校生:2万5,000円(1人当たり)
\*申込/2月28日までに、市生活安全課(内線424)へ

- \*ところ/墨俣児童館
\*内容/音楽に合わせてダンスや手遊びをしながら、親子でリズム運動を楽しむ
\*問合せ/墨俣児童館 ☎62-1533 へ

ファミサポふれあい交流会

- \*とき/3月12日(火) 午前10時~正午
\*ところ/総合福祉会館4階研修室・教養室
\*内容/ベビーサイン(身振りや手振りによる乳幼児とのコミュニケーション)講座、おしゃべり交流会など
\*定員/ベビーサイン講座のみ先着25組
\*申込/2月1日~28日に、大垣市社会福祉協議会 ☎78-8181 へ